

EXTRA 304 V.II

形の  
みる  
夢  
は

18

For ADULT ONLY!



わたしが  
この場所に  
降り立ったのは

これで何回目  
なんだらう

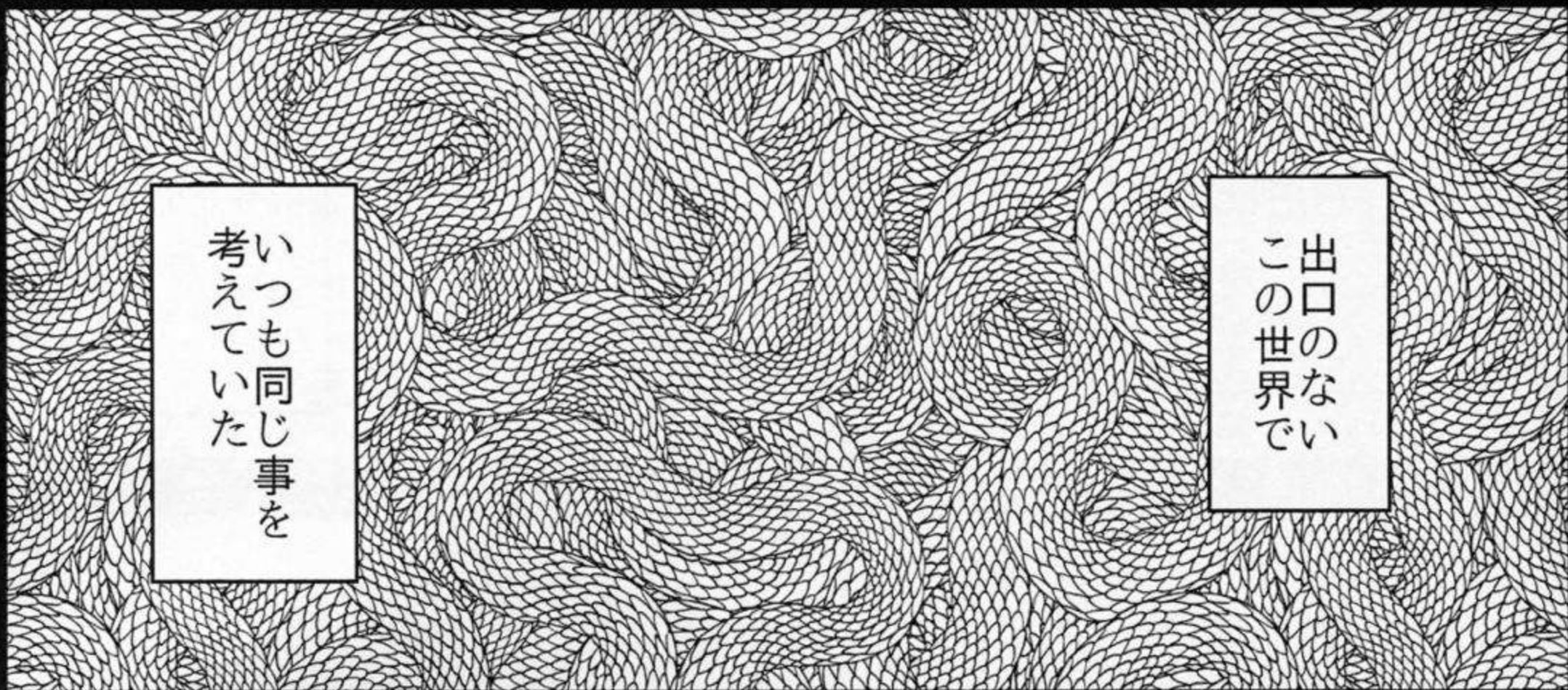
音もなく  
色もなく

何もない  
まっしろな  
虚無の世界

さむくて  
つめたくて

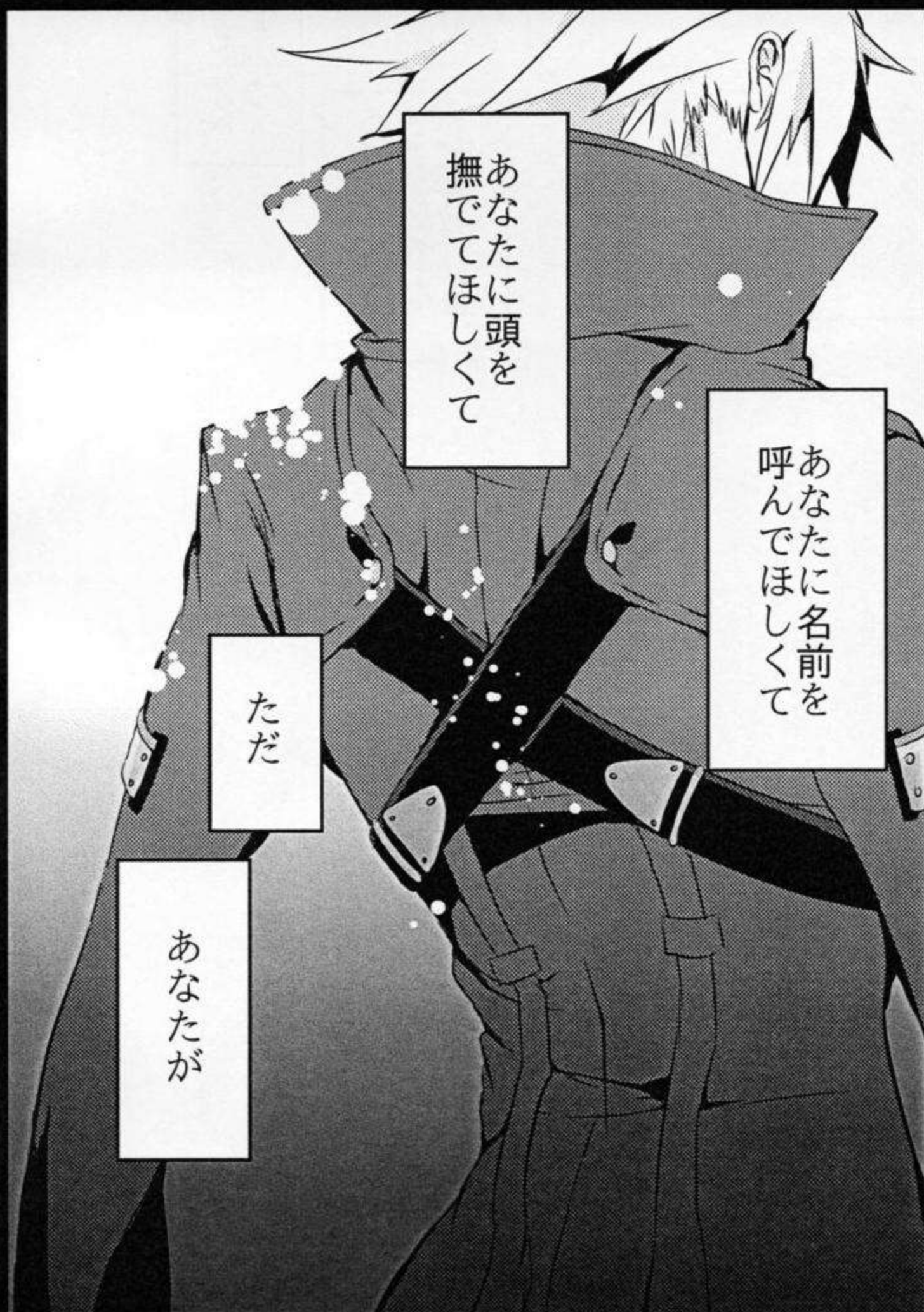
かなしく  
さびしく





出口のない  
この世界で

いつも同じ事を  
考えていた



あなたに頭を  
撫でてほしくて

あなたに名前を  
呼んでほしくて

ただ

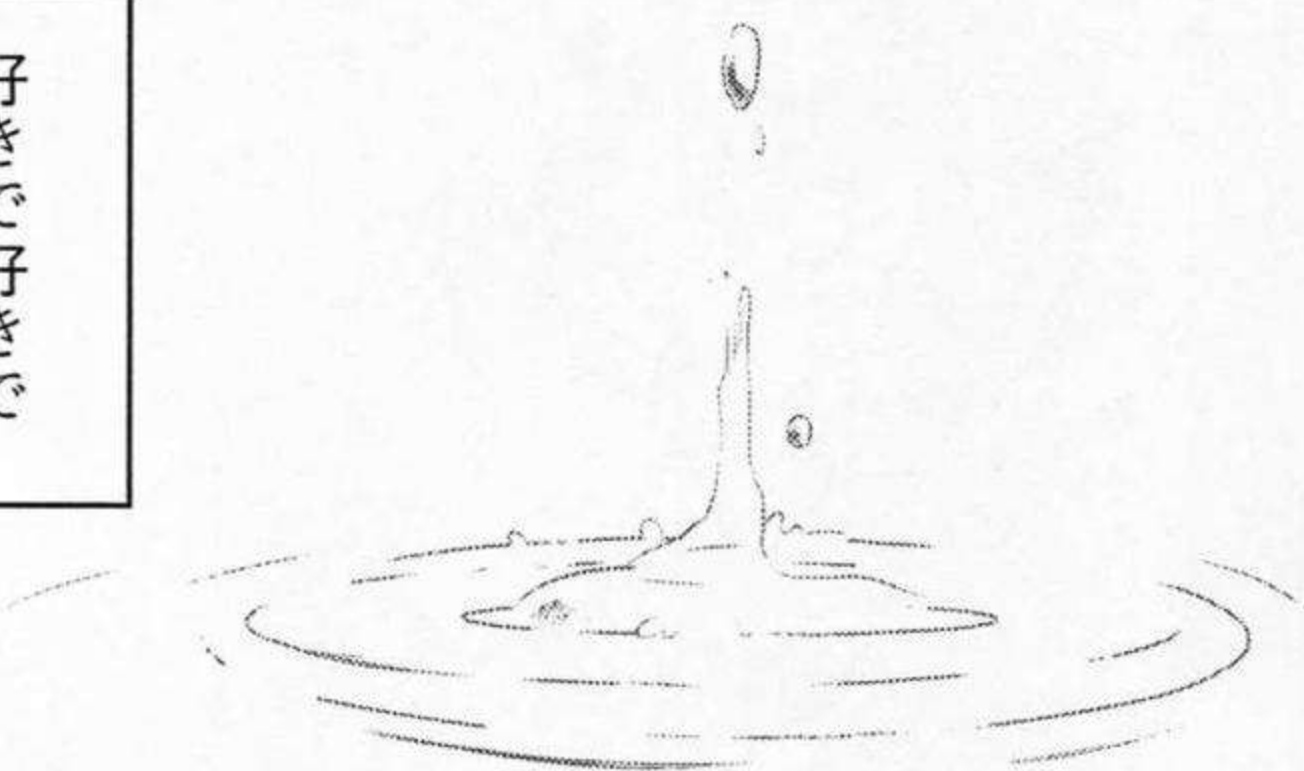
あなたが



ただ

好きで好きで  
たまたまなくて

どうしようも  
ないくらいにも



手を伸ばして  
みるけれど

「もしかしたら」  
なんて希望に  
すがり付いて



残酷な世界はどうしたって  
私という存在を拒んでいて

ただの一度も  
叶わなかった  
その「夢」は



光を失い



深淵の底へ  
沈んでいって  
しまった

時間が  
止まった——





無限に輪廻する世界に  
置き去りにされた  
「夢」の断片たちが

数多にも重なり  
やがて一つの  
「世界」を生成した。

—という  
ところかしら？



—そう

あくまでも  
運命に抗うのね

保健室

貴方たちは

何だ…

誰かが俺を…  
呼んでる…？

ラグナ

ーガナ

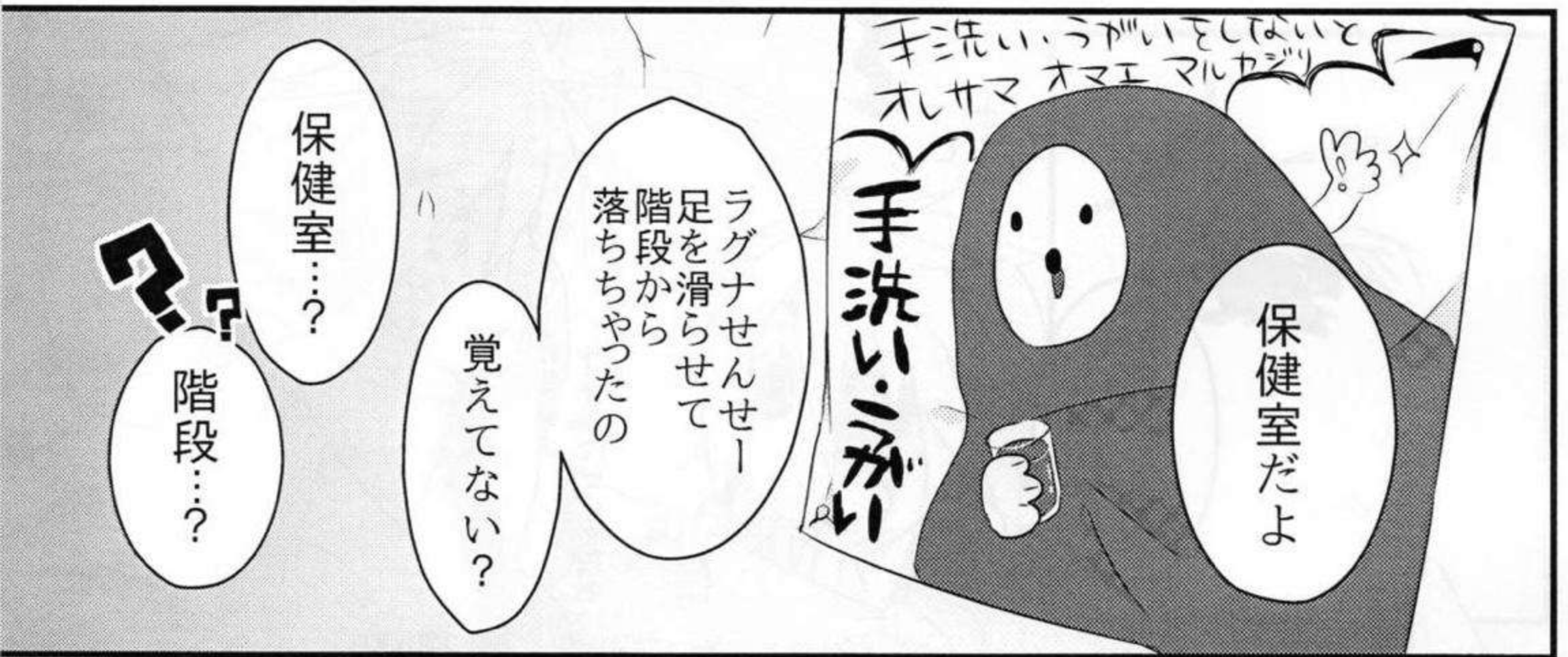
だいたいどうぶつ…？

ほおっ

ラグナ  
せんせい

…ニユー…？





けど何か酷く  
重要な夢を  
見てたようなー

すげえ頭が  
混乱してる…





ゴキウ  
ゴキウ

え

え

え

ノイズだらけで  
うまく思い出せね



…ダメだ



しゅん…

せんせー  
無理してる？

!!

すん



な  
な  
な  
な  
な  
なんだよ…？

ナノが…  
ノイズマシタ



…そっか

おうよ！

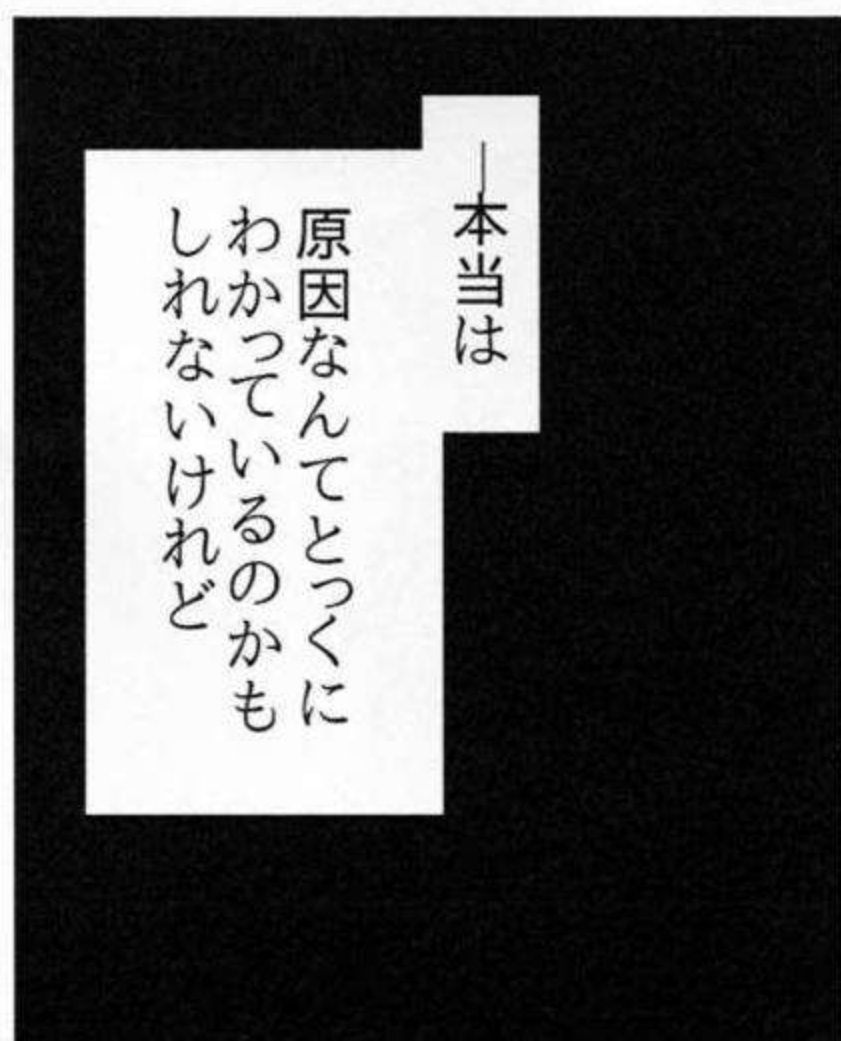


イヤイヤイヤ  
全然無理ヤヤ  
なんかして  
ねえよ！！  
むしろ元気  
だかンビね  
!!!

…ほんま？

びんびんびんびんびん





残酷でいて  
無情なる世界

決して逃げる  
事のできない  
「運命」

…まあ  
あれだ

そんな  
小難しい  
話より

ここが現実だろうが  
夢の中だろうが

コイツが悲しいは  
顔をすのだけはい  
非常にいただけはい

ほし

「やっ?」

ほし

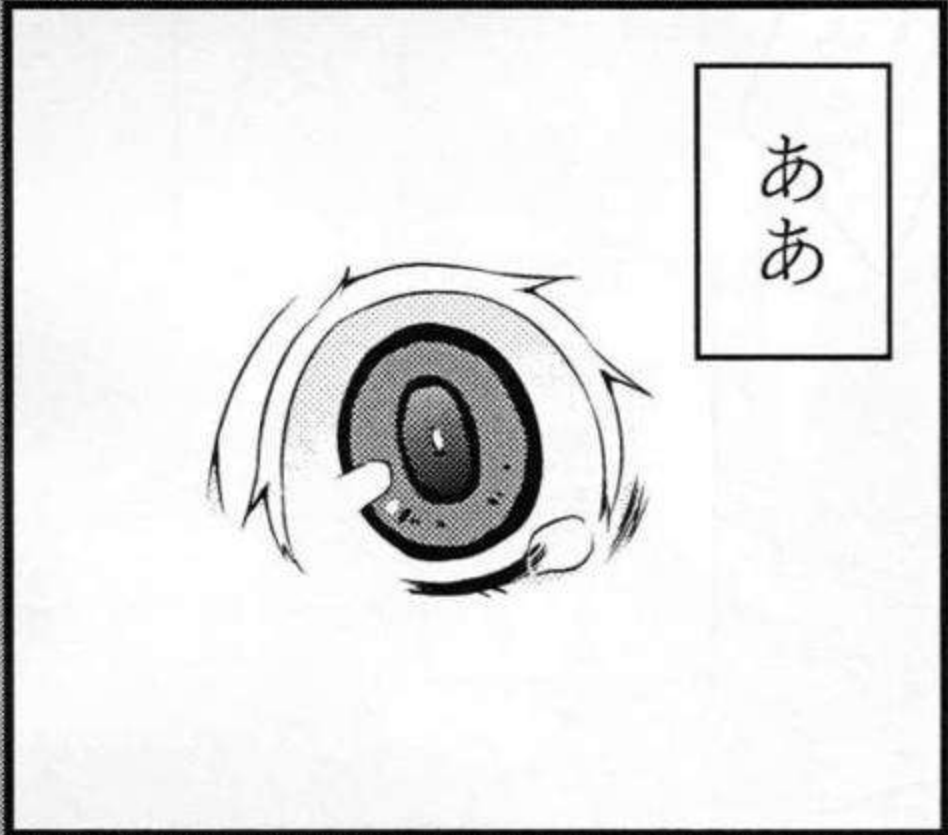
131

これから  
はい今は

ぎゅーっ  
ってか？



ああ



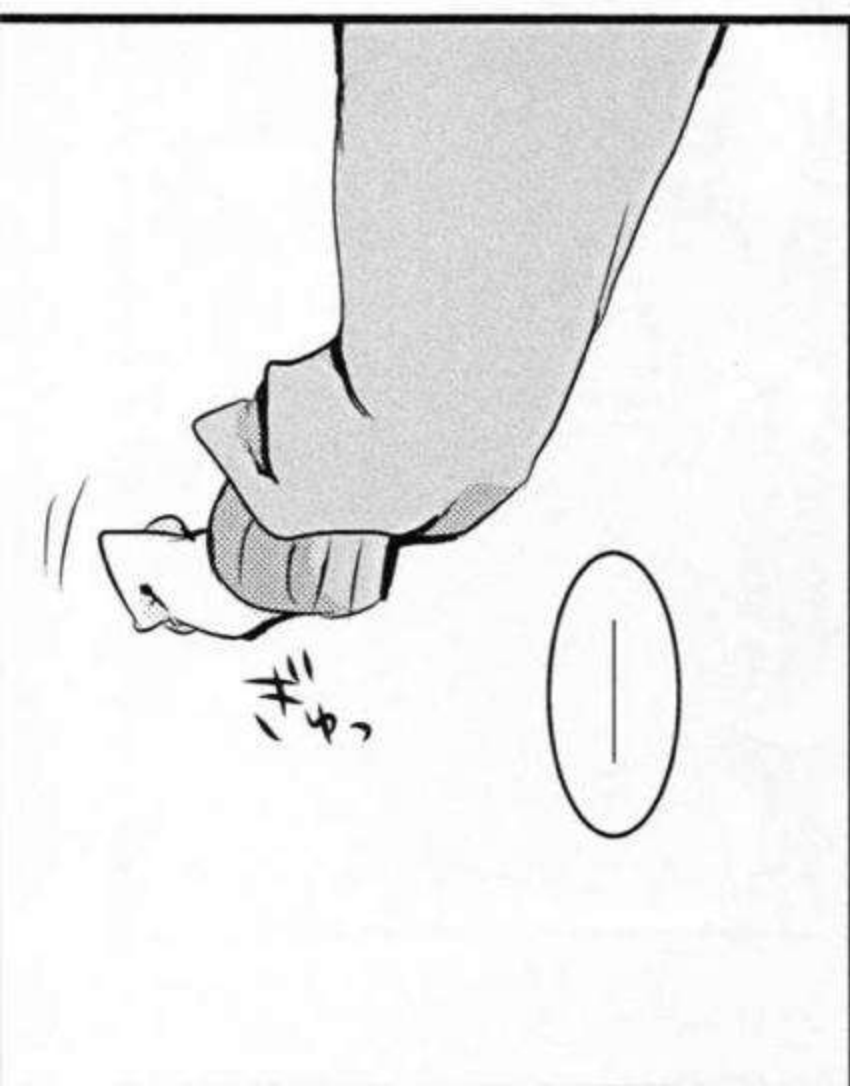
あなたのにおい

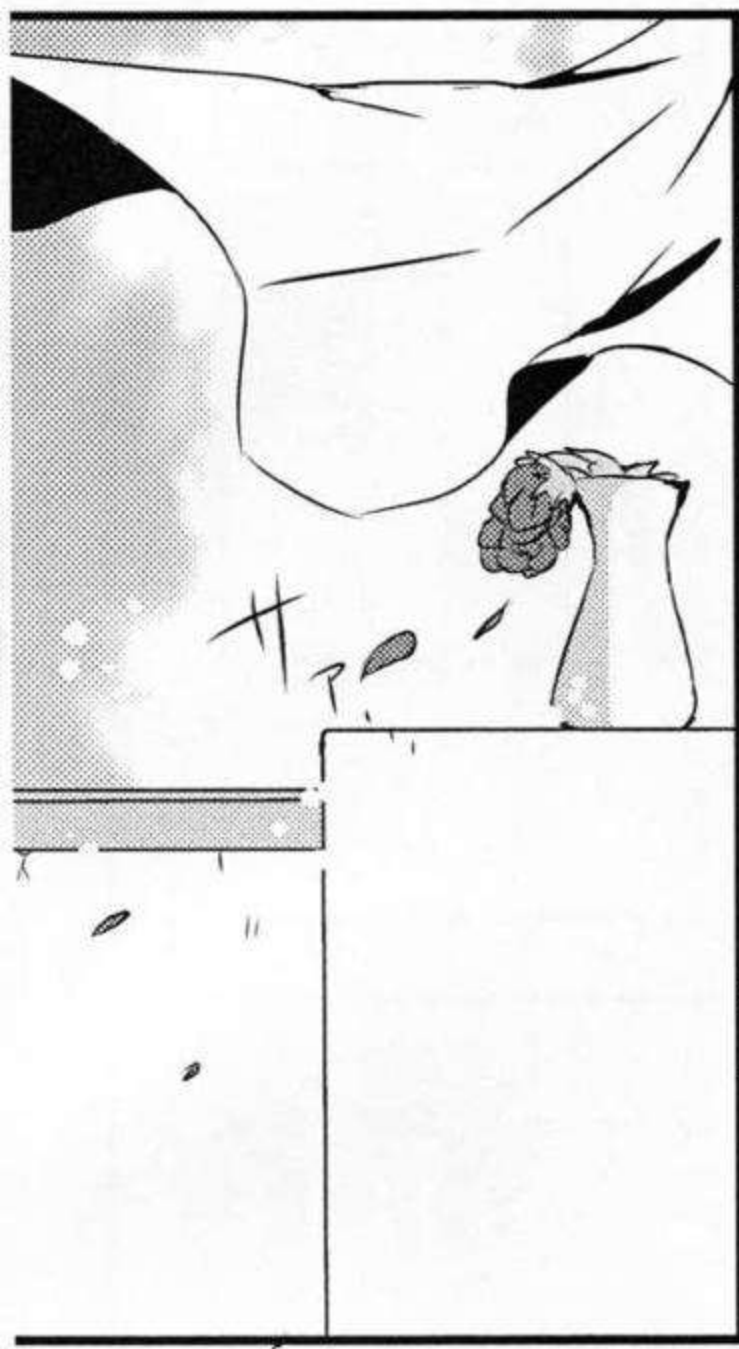
あなたの吐息

あなたの  
心臓の音

あなたの  
全てが









おっ

お前

ここがどこだか  
わかってて  
やってんのか…?

うん

だいたい  
じょうぶ  
だから

何がだよ



誰もこないよ

ニユーには  
わかるもん







落ちて着け俺  
落ちて着くんた



落ちて着け



これは人道的に非常に  
マズイっていうか  
そもそも俺は教師であつて  
コイツは生徒な訳で  
誰かに見られでもし  
俺は勿論コイツにも  
迷惑がかかる訳で  
いやしかしこの  
マシユマロはやべえ

一線を踏み越えちまう  
もう戻れねえんが  
この手を跳ね除け  
それで済む話じゃねえ  
いやしかしこの  
マシユマロはたまらん

もきとまどまどまどまどまどまどまどまどまど

~混乱中~

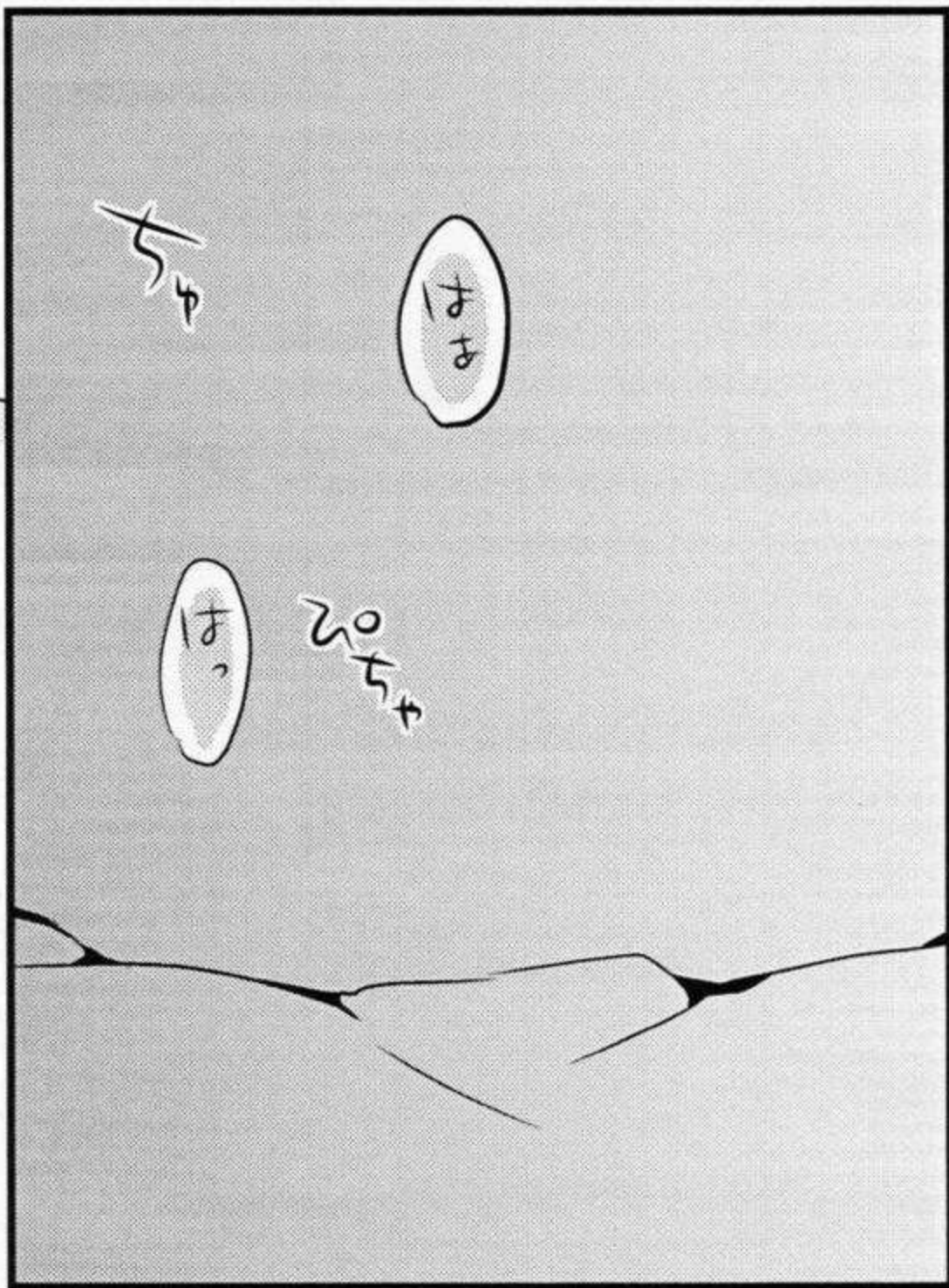


今俺がこの手を  
振り払ってしまつたら



けれど







あゝ

ちやほほ

ちやほほ



＊ラジカメ持ちいい?

ふあふああ  
ひほひひひ?

口にそんなモン  
啜えたまま  
喋るんじや  
ありません  
俺がハズかしいわ



WHAT!!?

おは

ん

ん

ん

ん



…じゃあ  
もっと気持ち  
よくしてあげる

あ…?









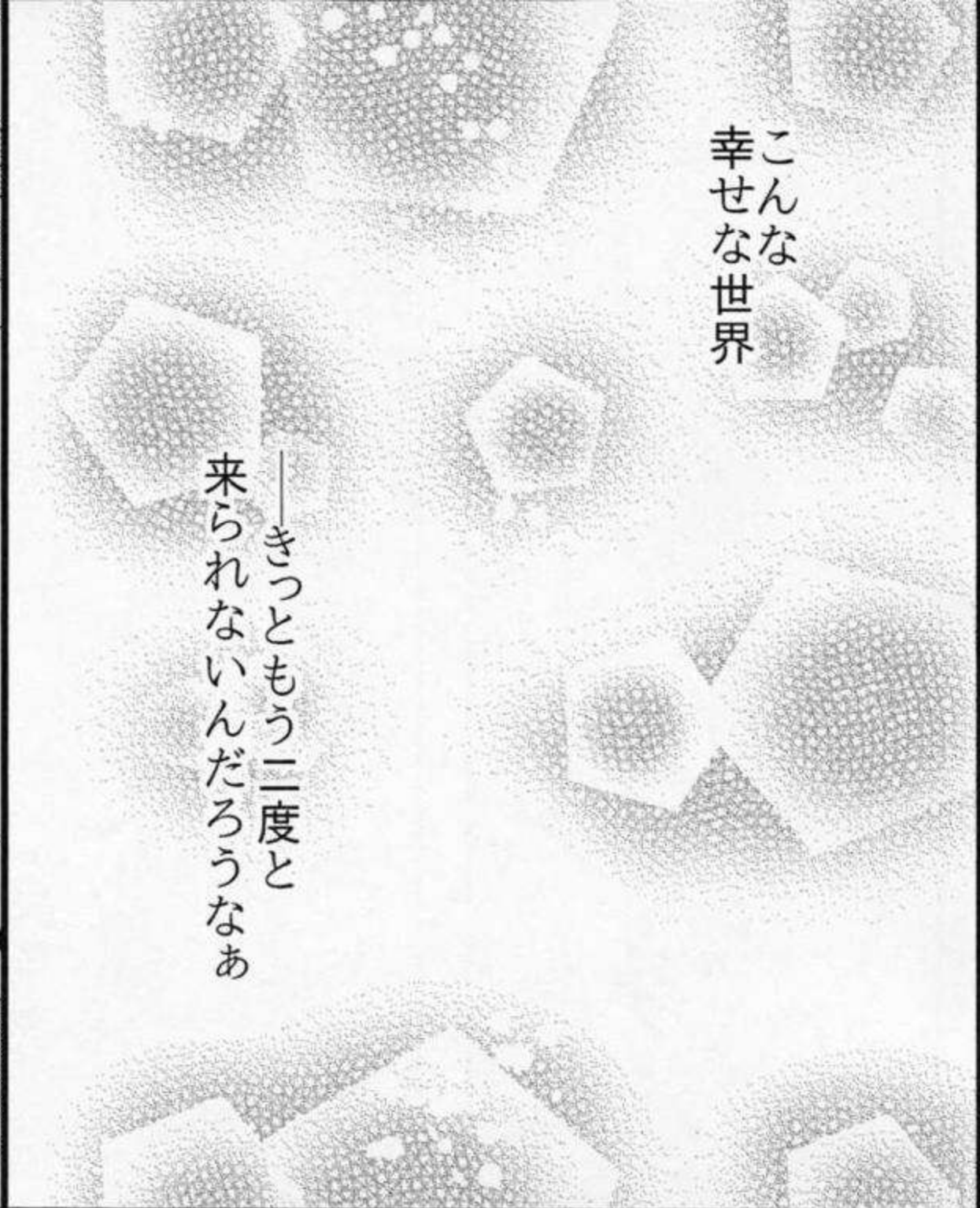


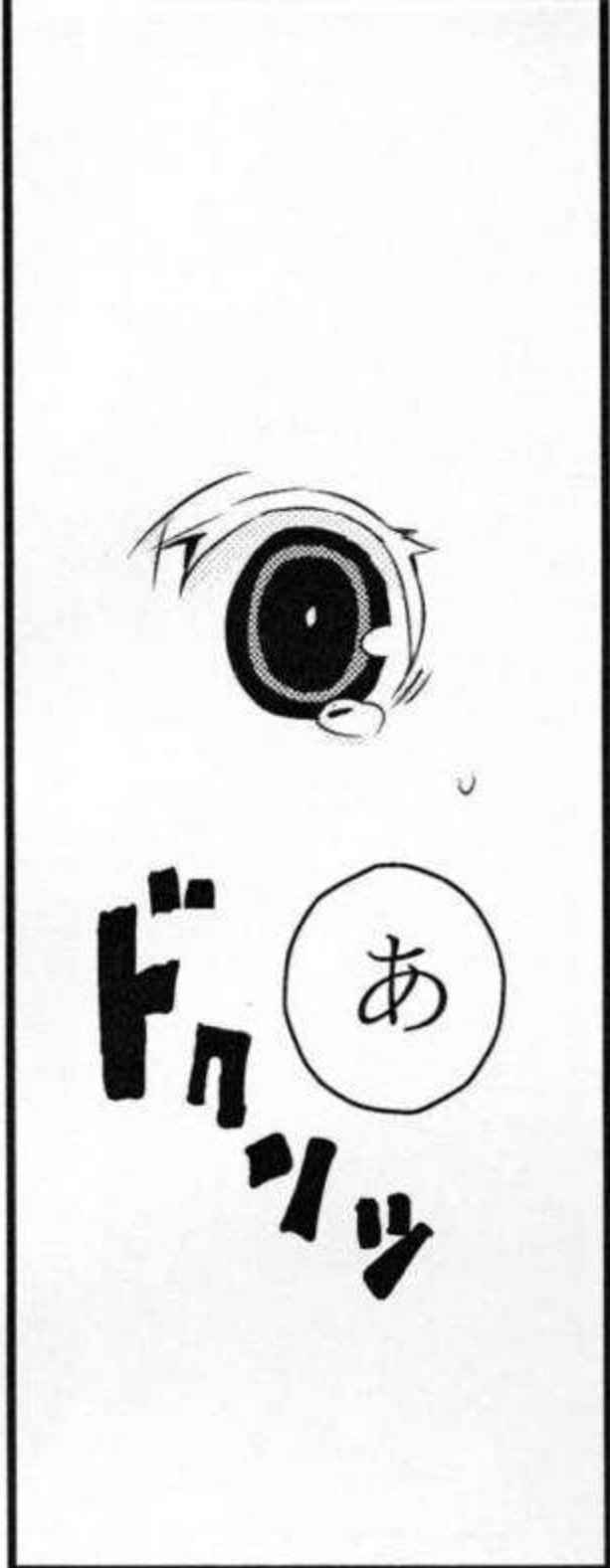




こんな  
幸せな世界

——きっともう二度と  
来られないんだらうなあ







おぼお

うれしい...  
うれしいよお...♡

お



なひら  
れとグ  
たつナ  
にと





がし

の馬鹿がッ

156



あ?

目一杯動いて  
ほしかったんだろ?

めめめ

めめめ

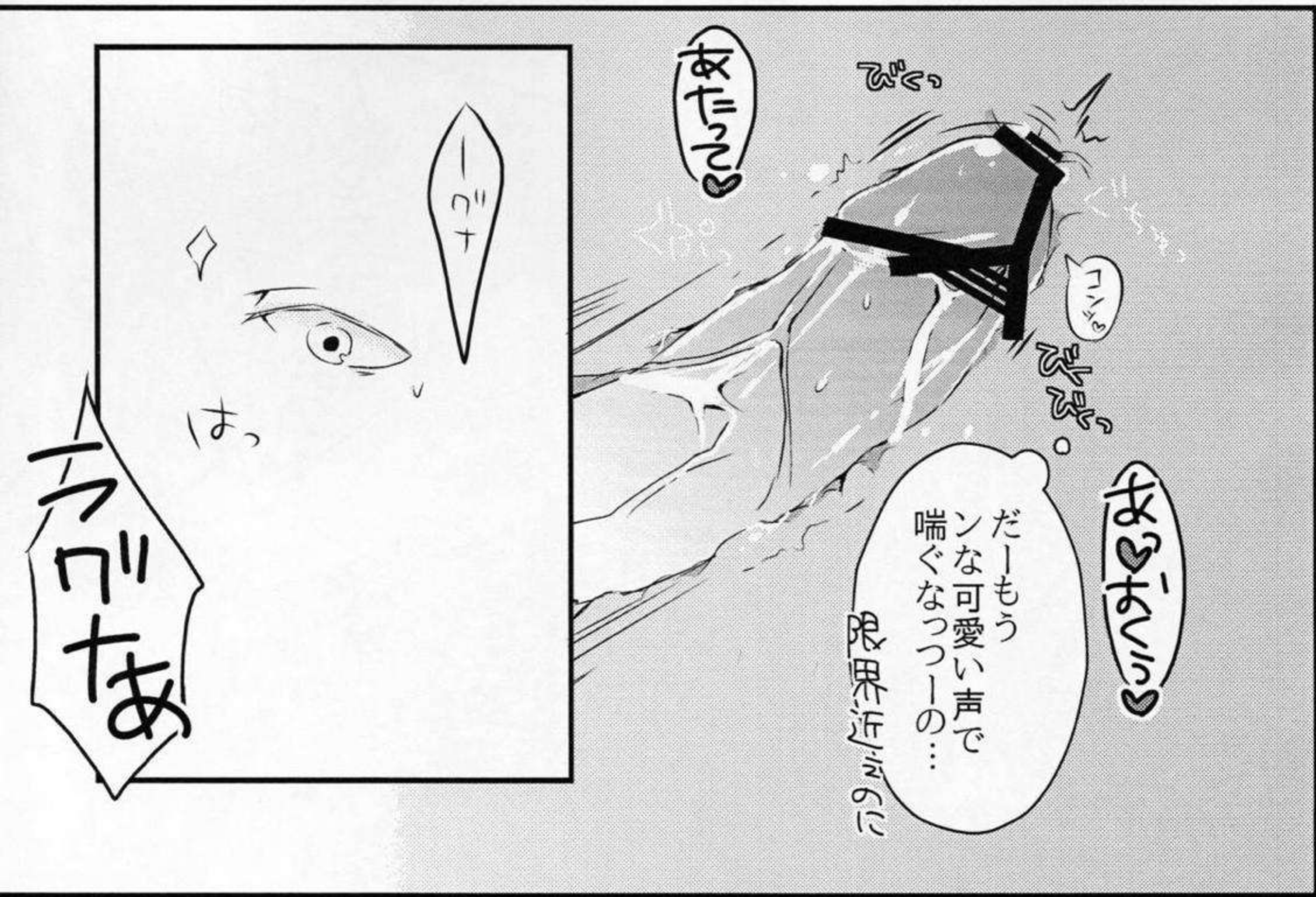
びん

びん

めめめ









そんな事  
ずっと前から

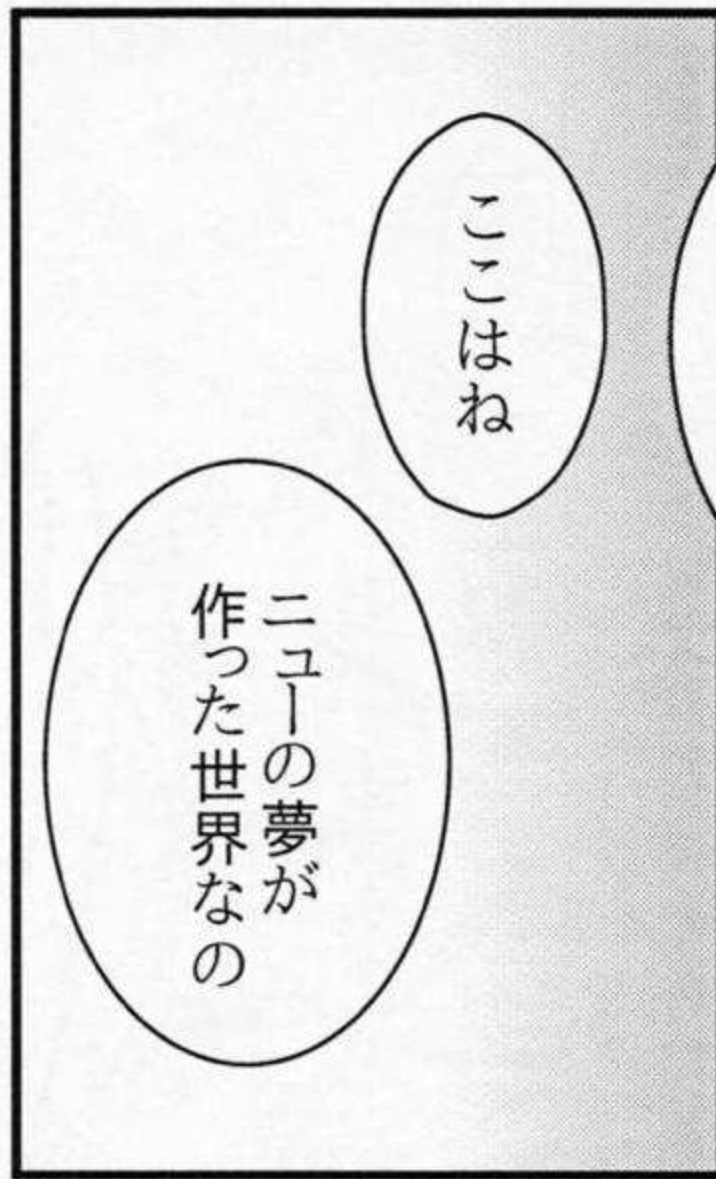


—知ってるっつもの



俺も…限界ツ…





途中から  
なんとなく  
気付いてた？

ここはね

ニューの夢が  
作った世界なの



「あの場所」で  
「ラグナ」と一緒に  
いられる世界」を  
考えてたら

いつの間にか  
この世界が  
できてたんだ



「あつちの世界」でも  
こんな風に「ラグナ」と  
いられればいいのに

…なんで  
だろうね？



ギ  
ヤ  
ン

結果は  
変わらない

くり返しても  
くり返しても

くり返しても  
くり返しても



ニユ  
ー  
た  
ち  
は

や  
っ  
ぱ  
り  
傷  
付  
け  
あ  
っ  
ち  
や  
う

や  
っ  
ぱ  
り  
運  
命  
は  
変  
え  
ら  
れ  
な  
い  
の  
か  
な  
あ  
...



.....

ギ  
ヤ  
ン



.....なあに？



.....なあ

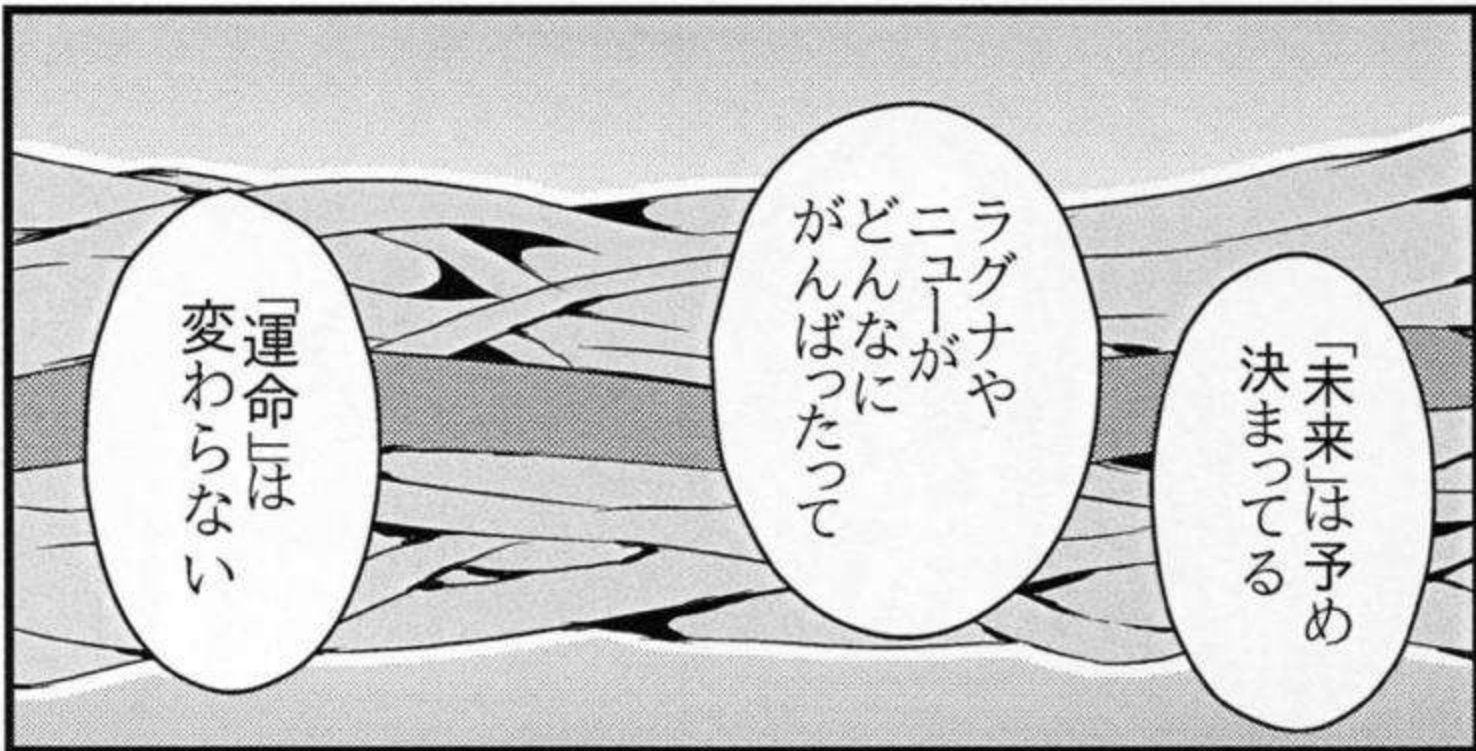
ニユー



それでいいの？



お前は





俺はお前が  
好きなんだ

ずっと傍に  
いたたいし  
離れたくない

自分自身の  
本当の気持ち  
が

いまお前がここで  
諦めちまったら  
俺達はきつと二度と  
触れ合えない

俺は非常に  
困る訳だ

後悔の間のつな

これ面と向かって  
いうのヤベエ...

ラグナが...  
ニユーを  
好き...?



何十

何百って

お前と  
やりあつて

窯の中に  
落ちる度にさ

：俺もこれが  
「運命なんじゃ  
ないかって

思うように  
なつちまつてた

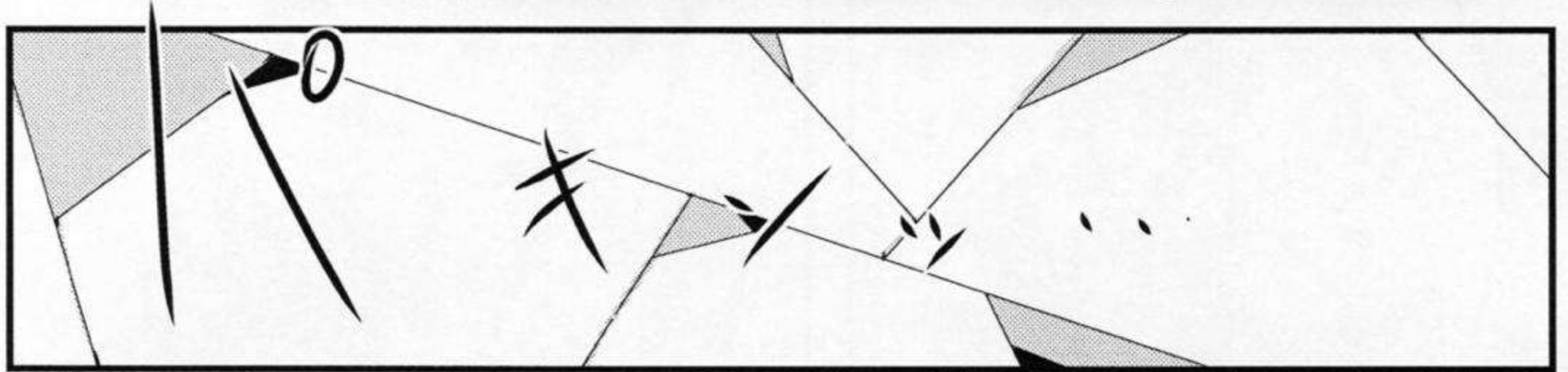
でも

ようやく  
確信できた

ここにきて  
お前としこたま  
触れ合つて

なぜ

たとえカミサマが  
俺とお前を拒んだつて  
俺は気にしねえ





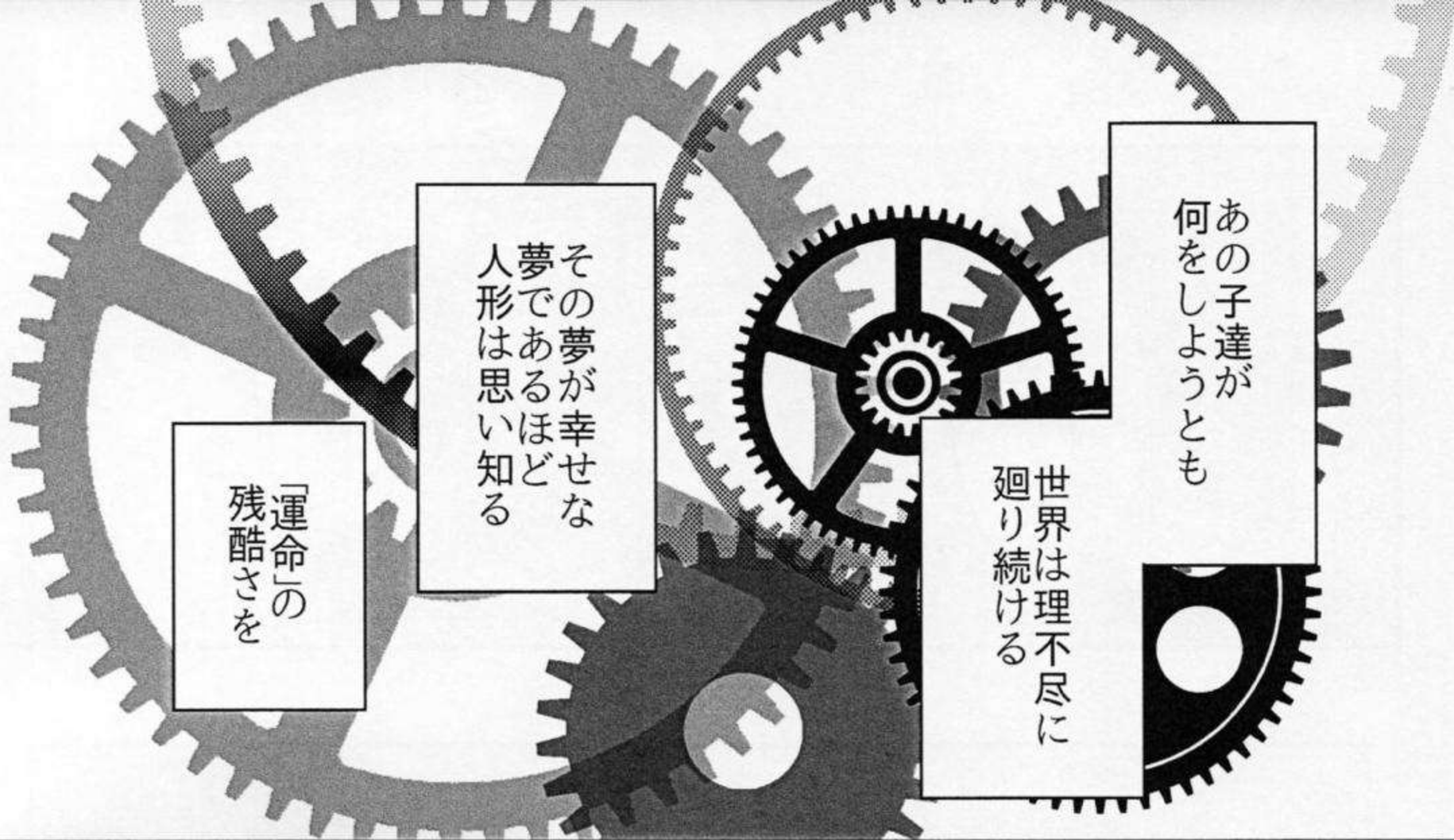
俺たちは

なにが  
あつても

お人形さんは

滑稽な位に  
幸せな「世界」を  
造つたのね

…それ故に  
哀れだわ



あの子達が  
何をしようとも

世界は理不尽に  
廻り続ける

その夢が幸せな  
夢であるほど  
人形は思い知る

「運命」の  
残酷さを



…かわいいそうな子

ウサギ  
俺行くわ

ああ

また始まるのね



ねえラグナ  
貴方——



まさか——

それ



俺は何度だって  
お前に手を伸ばす

これか？

少しだけ時間が  
かかっちゃうかも  
しれねえけど

これは――

必ずお前を  
助けるから





ただの一度も  
叶わなかった  
その「夢」は

色を失い

暗い暗い  
底へいつと  
沈んでいつと

約束しようぜ？

けれど

沈んでゆく  
その「夢」を

俺たちは

掬い上げようとする  
愚者が現れた

夢は再び  
蒼い光を帯び


何かあっても

世界の因果を  
捻じ曲げてゆく



ずっと一緒だ





そして  
世界は



動き出す——

やっとあえたね

ラグナ

Doll was asked the fool.  
"Why do you help me?"

The fool answered.  
"It is because I love you."

The doll heard it and became very happy.  
The fool who looked at the smile of the doll also became very happy.

..End



あつた

あつた  
服に  
あつた  
もた  
(あつた)  
あつた

いやぁ長かった...長かったよ...あまりにギリギリの脱稿すぎで  
あと2ヶ月あるから大丈夫だろwwwとか L o V ばかりしてた自分を  
蹴り飛ばしたいと何度思ったことか...リリースたんかわいいよニドマジラスボス

改めましてどうも、はじめましての方ははじめまして！うづきのこです。  
ついに出してしまいましたラグニュー本...いかがだったでしょうか。  
ページ多すぎますね！すみませんやっぱ僕は漫画とかストーリー書くの向いてないな！  
とにかくマジニューちゃん幸せになれよの一心で書き上げました。  
最初はおもしろ、ギャグ寄り...まんまパロディみたいな、3年B組系でしたが、  
途中でガラリと変わってよくわからん感じになりました。  
何百回も世界がループしてたんだから、ラグナがニューちゃんを  
運命から救い出すべく立ち向かう的なのこういう事象があっても  
良かったんじゃないかなーと思ったんですよ...  
ラグナさんがヘタレなのは仕様です。うちのラグナさん根っからのヘタレじゃけん...

このお話の後2人がどうなったかは皆さんにお任せします。  
マジリア充爆発しろ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!幸せになれよ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!1!!!!!!!!!!

今回の本で一切生かせなかった設定なんかは当日のコピー本で発散する(予定)  
と思われまます。どうせ女性向けだけどね!!

結局この原稿が終わってもまた原稿に追われるんだね...(^ω^)もっ

次はきっとラグジンかなあ...ハザジンも描きたいなあ  
女の子もちろん描きたいですが次はやっぱホモエロだな(・∀・)ウヒョ

それでは今回はこの辺で。ラグニューもっと増えろ!!!!!!

◇本書を書くにあたりPIXIV内より素材をいくつかお借りしております。  
この場でお礼を申し上げます、ありがとうございました！

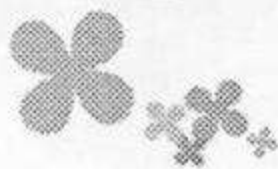
2012 / 03 / 18 / うづきのこ







※ありません。



## おくづけ



◇2012/03/18

◇猫騷地/うづきのこ

◇<http://nekobakuchi3015.blog130.fc2.com/>

◇ppmush\_u@hotmail.co.jp

(※サイトは基本的に女性向け要素が多めなので閲覧注意です)

◇印刷所/株式会社 ポプルスさま

◆無断転載、オークションへの出品、未成年の購読は  
ご遠慮くださいますようお願いいたします。

すごい余談だけど注文した後にポプルスさまが  
メチャ近所に本社を構えていらっしゃる事に気付いた...  
歩いていけるレベルじゃないのwwwwww



**BLAZBLUE RAGNA × v-No. 13- FAN BOOK  
PRODUCED BY NEKOMASSHIGURA**